

段級

身

身

慎

慎

是

是

寸口に  
筆をあげる↓

符

符

護

護

王羲之(書聖と呼ばれている)  
「蘭亭序」「集字聖教序」  
「興福寺断碑」から字を集めて  
倣書(背臨)で書いています。

慎みは是護身の符

事を慎めば身に災いの来ることなく、  
あたかも身をまもるおふだの如し

(明心寶鑑)